

1. ランクル 60 のグレー内装色にはピクニカの配色。ペンドルトン生地のほかも見える WEIGHT FABRIC を選んでいます。2. ランクル 80 にペンドルトン・コラボシートカバー装着。使用した生地は80時に特製のサンミゲル (Sammigel) 3. ランクル 80 のサンドアバネル - 部オーバーオール (Overall) 生地で張替え。

4. シートとお問い合わせの時の車検証ケースで、さらなるこだわり感を演出。5. ランクル 60 に装着のペンドルトン・ダッシュマット。運転中は常に目に入ら場所だから、ドライバーが運転するときに。6. ハイエースP-D-BOX シートカバーはペンドルトンコラボPHDで新規開発。インテリアの高潔感を変えるのは、エクステリアよりも遥かに難しい。これまで高い完成度を達成したのは、flexdream ならではの豊富なノウハウがあってこそ!



flexdream × PENDLETON

歴史あるアメリカン・テキスタイルをインテリアに

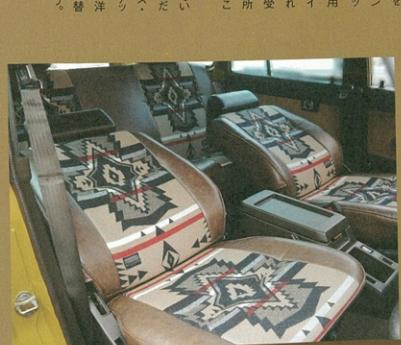
ランクルやハイエース等を専門に販売・カスタムを行うflexdreamが、アメリカの老舗ウールウェア・ブランド「ペンドルトン」とコラボする! 洒落モノなら、インテリアにも拘るべし!

Call / flexdream.jp tel:042-486-8887 http://www.flexdream.jp

フレックスドリームが販売する車両の中でも、スタイリッシュなカスタムが好評な「インクル・シート」。抜群の機動力を誇る「インクル」、当社が幾年に渡り磨いてきた職人技をこだわった。生糸の「インクル・シート」はどちらのこのよう、若者の間でもライダースタイルを彩るファッションアイテムのなクルマとともに人気急騰している。更新のカスタムを計画する中で、新規のアドバイスが現場スタッフから提案される。それが150年以上の歴史ある老舗のアメリカン・ウールウェア「ペンドルトン」のキャラクターを表現する「インクル」のキャラクター(生地)を「ヨーロッパ風」として、インクルとの相性は抜群なのである。

そこで早速、カスタムプロジェクトを始動。角目4灯を丸目2灯に換装するなど、すでに「フレックスドリーム」にてカタログされた「インクル・シート」のランクル 60 をベースにインクルにて手を加えています。座面の中央をペンドルトンの「インクル」に張り替えたところ、一見派手かなと思われる元の革シートとの相性がよく、自然に調和したといふ。ただ単に既存の生地を貼るというだけではクルマのシートには燃えじまいといふ証明がなければ採用できないから

ランクル、ハイエース、USトヨタ車など、武骨な4×4やアメ車をモチーフとするflexdream。アウトドアにもガソリンを使い、かつ車でも映えをクルマづくり続けている。まずは代表格ともいえるランクル 60 と 80、そしてハイエースから、ペンドルトン・コラボはスタートすることに。



ランクル 60 のシートの中央部を、ペンドルトンのテキスタイル「WEIGHT FABRIC」に張り替え、派手すぎず、クラシカルかつ上質な雰囲気に一変しました。



だから車内に充満した仕掛けが出来上がったのだ。
そして次に手掛けたプロトタイプはランクル 80。ランクル 60 ほどの張り替えられたが、ランクル 80 にはシートカバーを採用。ランクル 60、80 とともに使用した生地はペンドルトンの「WEIGHT FABRIC」で、長く使ってもへりこむくらいの厚手の生地で、中でも丈夫なものの裁断箇所をあえて不規則にして固執の異なる表情を楽しむ仕様にするなど、テキスタイルの可能性を探り続けた。シートカバー1つづのランクル 80 内装は、ドアの内張りやグリップ、車検証入れまで、シートカバーを採用するなど、インテリア全体でテキスタイルを楽しめるところの演出も注目ポイントとなる。

これから車柄の仕様を詰めていく段階で、まだ価格などを調整中だが、すでにインクル以外にもハイエース、USトヨタのバーティカルなどを制作中。ファンショナルをむかうスタイルで作る。洋服を買ふよ! クルマのシートも着替えられたら、きっと最高に楽しいだろう。